

# 農業の新しい技術

No. 657(平成24年5月)  
分類コード 02-10  
熊本県農林水産部

クリ「ぼろたん」の受粉樹には、「利平栗」、  
「美玖里（みくり）」が適する

農業研究センター 果樹研究所落葉果樹研究室  
担当者：藤丸 治

## 研究のねらい

クリ新品種「ぼろたん」は、渋皮が簡易に剥くことができる唯一のニホングリであるが、出荷時に他品種との果実混入を防止するため、収穫期が重ならない品種、もしくは果実の外観で容易に見分けることができる受粉樹が必要である。「ぼろたん」の受粉樹としては、収穫期が重ならない「美玖里」、果実外観で容易に見分けることができる「利平栗」が候補になっているが、雄花開花期が「ぼろたん」の雌花開花期より遅れるため、受粉樹としての適性に不安がある。

そこで、「ぼろたん」の受粉効率が高い時期を調査し、「美玖里」、「利平栗」が「ぼろたん」受粉樹として適していることを明らかにする。

## 研究の成果

- 「利平栗」、「美玖里」の雄花満開日は、「ぼろたん」の雌花満開日よりそれぞれ5、10日遅い（表1）。
- 「ぼろたん」の1穂あたりの含核数は、雌花満開1日後（雌花柱頭突出後11日目）までは少なく、雌花満開8日後（柱頭突出18日後）に最も多くなり（写真1、図1）、満開16日後（柱頭突出26日目）には少なくなる（図1）。
- 着穂率は、雌花満開8日後（柱頭突出18日後）に100%となり、満開16日以後（柱頭突出26日目）には50%レベルまで低下する（図2）。

以上のことから、クリ「ぼろたん」の受粉効率は満開後8日頃が最も高く、その時期に雄花の開花期を迎える「利平栗」「美玖里（みくり）」は「ぼろたん」の受粉樹として適する。

## 普及上の留意点

- 受粉樹は「ぼろたん」から10m以内に植栽する。
- 「ぼろたん」と受粉樹の植栽比率は、周囲からの花粉飛散が多い園地では10%、花粉飛散が望めない園地では30%程度とする。
- 「美玖里」については収穫期が10月にずれ込むため、クリシギゾウムシの発生に注意する。



写真1 柱頭突出時の「ぼろたん」の雌花  
この時期はまだ受精しない

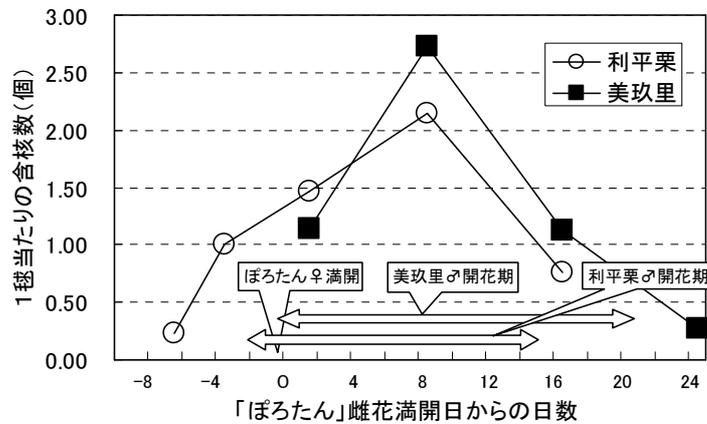


写真2 受粉効率が最も高い時期の  
「ぼろたん」の雌花（満開8日後）

表1 「ぼろたん」「美玖里」「利平栗」の開花期比較

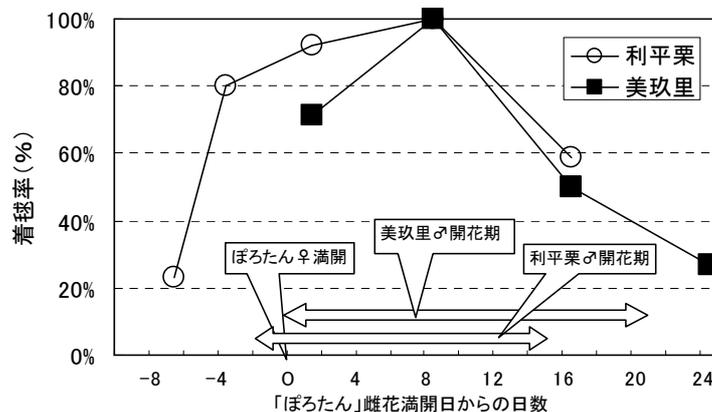
品 種	雌花		雄花	
	開花始	満開	開花始	満開
ぼろたん	5/17	5/24	5/20	5/26
美玖里	5/22	5/29	5/27	6/3
利平栗	5/25	5/30	5/23	5/29

注) 2005、2006、2009、2011年の平均値



注) 柱頭突出時に雌花に袋を掛け、外部からの花粉を遮断した雌花へ3～8日毎に受粉した。

図1 「美玖里」「利平栗」花粉の交配日と「ぼろたん」の含核数(2011)



注) 柱頭突出時に雌花に袋を掛け、外部からの花粉を遮断した雌花へ3～8日毎に受粉した。

図2 「美玖里」「利平栗」花粉の交配日と「ぼろたん」の着穂率(2011)